

市民と議会を結ぶ

宇都宮市議会 自由民主党議員会

Vol.2

夢・うつのみや

発行日：2009年3月30日
 発行：宇都宮市議会 自由民主党議員会
 住所：〒320-8540 栃木県宇都宮市旭 1丁目15
 電話：028-632-2618
 FAX：028-632-7140

平成21年度予算を可決

みんなが幸せに暮らせるまちを目指して

救急医療体制の確保	億 3,997万円
妊産婦医療費助成の拡充	億 4,846万円
妊婦健康診査の拡充	億 3,664万円
不妊治療費助成の充実	7,530万円
子育て情報の総合的な提供	273万円
高齢者外出支援事業の充実	5,768万円
障がい者日中一時支援事業の実施	億 2,555万円
など	

市内経済や市民生活を守るために

【金融政策】	信用保証料助成
中小企業融資制度の拡充	
【雇用対策】	職業訓練
雇用助成制度	
【地域経済活性化対策】	公共事業の確保
中心市街地の活性化	
など	

宇都宮市議会は三月定例会最終日の三月二十四日、平成二十一年度予算を可決しました。

自由民主党議員会では、重点要望と具体的な要望を示し、来年度予算に反映させるよう市執行部に要望してきました。その結果、厳しい財政状況の中ではありますが、市民生活に直結する施策を中心に当会の要望を市の来年度予算に数多く反映させることができました。

市民生活は依然として厳しい状況にあります。私たちは、引き続き市民の声を市の施策に反映させるよう全力を尽くして参ります。



効率的・効果的な行政運営への取り組み

税収等確保対策の強化
指定管理者制度の導入
民間委託の推進
新たな行政改革大綱の策定
など

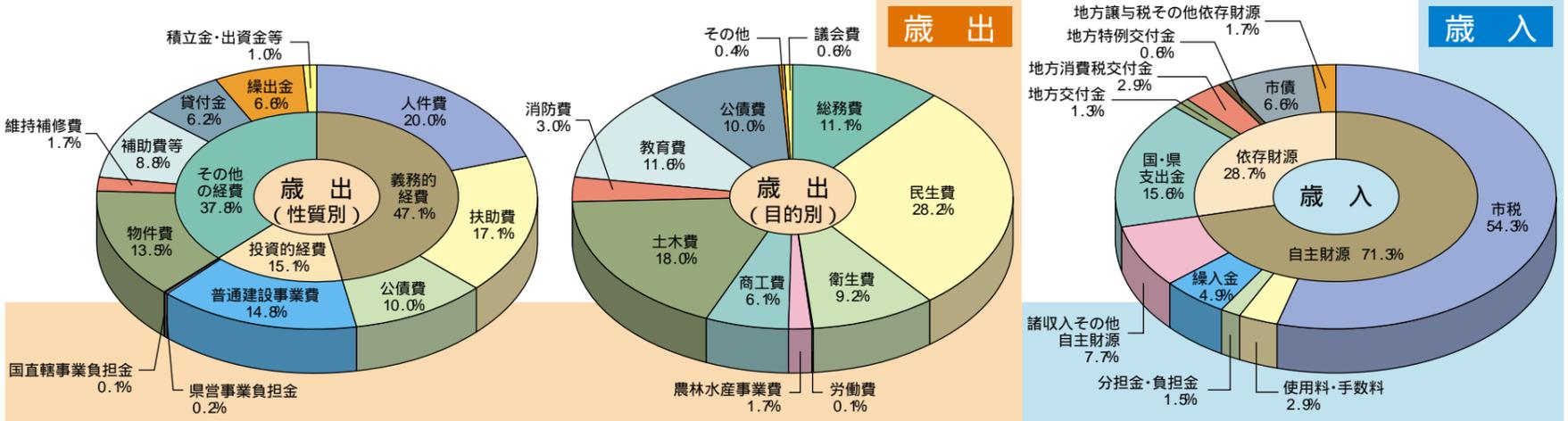
持続的に発展できるまちを目指して

小中学校整備事業	43億 4,803万円
第3図書館の建設	11億 4,512万円
宮っこステーション事業の推進	4億 266万円
外国語学習の充実	9,139万円
次世代モビリティ産業集積の促進	1,140万円
「もったいないうつのみや」の推進	1,038万円
農産物ブランド化の推進	2,207万円
など	

みんなに選ばれるまちを目指して

市街地再開発事業の推進	20億 2,159万円
JR宇都宮駅東口地区の整備	5億 1,777万円
JR雀宮駅周辺地区の整備	23億 2,514万円
宇都宮ブランドの確立	8,967万円
岡本駅西土地区画整理事業の推進	11億 4,773万円
中里原土地区画整理事業の推進	億 9,637万円
など	

一般会計 1,697億5,000万円 (前年度当初比2.3%増)



市民の声を市政に！！

宇都宮市議会自由民主党議員会では、より多くの市民の皆様の声を市政に反映させるために、積極的に取り組んでいます。

この「夢・うつのみや」に掲載いたしました記事へのご意見・ご感想をはじめ、皆様方の声をぜひお聞かせ下さい。

市民に開かれた市議会を目指し、引き続き頑張って参ります。

ご意見・ご要望等は下記へ

電話：028-632-2618

FAX：028-632-7140

宇都宮市議会
自由民主党議員会

<http://www.utsunomiya-jimin.jp/>

平成21年度当初予算に盛り込まれた主な事業

一部 価と重複しています。

【市内経済や市民生活を守るために】

【金融政策】

中小企業融資制度の拡充
 融資枠 163億円（対前年度 38億円増）
 ・「緊急景気対策特別資金」
 融資限度額：3,000万円以内、融資期間：7年以内、融資利率：1.6%など
 ・「まちづくり貢献企業支援資金」の創設
 融資限度額：2,000万円以内、融資期間：10年以内、融資利率：1.5%
 信用保証料助成
 融資額 1,000万円以内の信用保証料を全額助成

【雇用対策】

雇用助成制度
 ・常用雇用助成金
 ・試行雇用助成金
 職業訓練
 ・夜間の職業訓練の実施

【地域経済活性化対策】

中心市街地の活性化
 ・中心商業地出店等促進事業補助金の拡充
 ・オリオン及びパンパ市民広場使用料の引き下げ
 ・市営自転車駐車場の無料時間を拡大（2時間から4時間へ）

公共事業の確保
 ・一般会計 250億円余（対前年度 33億円増）
 ・特別会計 102億円余（対前年度 18億円増）など

【みんなが幸せに暮らせるまちを目指して】

救急医療体制の確保 1億 3,997万円
 輪番制病院と救急告示医療機関の連携強化など
 妊産婦医療費助成の拡充 1億 4,846万円
 助成対象期間を1ヶ月延長
 妊婦健康診査の拡充 3億 3,664万円
 妊婦健康診査の助成を、現行の1回から14回に拡充
 不妊治療費助成の充実 7,530万円
 助成対象に人工受精を追加
 子育て情報の総合的な提供 273万円
 ホームページやメールマガジンなどによる総合的な情報を提供
 高齢者外出支援事業の充実 5,768万円
 70歳以上へのパスカードなどの購入費助成
 障がい者日中一時支援事業の実施 1億 2,555万円
 知的障がい児の対象を中学生へ拡大

【みんなに選ばれるまちを目指して】

市街地再開発事業の推進 20億 2,159万円
 馬場通り西地区、宇都宮駅西口第4B地区など
 JR宇都宮駅東口地区の整備 5億 1,777万円

JR宇都宮駅周辺地区の整備 23億 2,514万円
 駅東口広場整備、西口駅前広場周辺整備など
 宇都宮ブランドの確立 8,967万円
 ブランド戦略推進組織の運営、宇都宮の魅力に関する情報発信など
 岡本駅西土地区画整理事業の推進 1億 4,773万円
 中里原土地区画整理事業の推進 1億 9,637万円

【持続的に発展できるまちを目指して】

小中学校整備事業 43億 4,803万円
 学校施設の耐震化、校舎の大規模改造など
 第3図書館の建設 1億 4,512万円
 雀宮駅東地区での建設工事、図書購入など
 宮っこステーション事業の推進 4億 256万円
 学校施設を活用した「放課後子ども教室事業」を6校から1校に拡大
 外国語学習の充実 9,139万円
 小学校における外国語指導助手による授業の拡充
 次世代モビリティ産業集積の促進 1,140万円
 ロボット教材を活用した人材育成事業の推進（VRコン大会の開催）

「もったいないうつのみや」の推進 1,038万円
 市民活動組織への支援やもったいないフェアの開催など
 農産物ブランド化の推進 2,207万円
 農産物の高品質化、ブランド化を推進

【効率的・効果的な行政運営への取り組み】

税金等確保対策の強化
 ・コンビニエンス・ストアにおける納付機会の拡大準備
 税目追加（個人市民税、固定資産税、都市計画税、国民健康保険税）
 ・法人市民税の電子申告の導入準備
 ・滞納者への電話催告の強化
 電話催告の民間委託の実施
 指定管理者制度の導入
 ・飛山城史跡公園に指定管理者制度を導入
 ・市営駐車場の管理（指定管理者）に「利用料金制度」を導入
 民間委託の推進
 ・学校給食調理業務（小中学校 63校から70校へ）
 ・川田、下河原水再生センター維持管理業務（包括的委託）
 新たな行政改革大綱の策定

宇都宮市のメディア戦略について勉強会を行いました。

講師 株式会社スノー代表取締役 放送作家・クリエイティブディレクター 高瀬真尚氏

平成21年2月20日(金)に、宇都宮市のメディア戦略について勉強会を行いました。

メディアの現状

テレビの時代からインターネットモバイル乱立のモアメディア時代に移行したことにより、総務省報告によれば、情報流通量は2000年を境に激増し始め、

5年後には80倍になっており、それが更に増え続けている。

メディアの今後の見通し

今まではテレビ広告により消費者は購買を決定していたが、最近ではネットで検索してから購買し、そして口コミにより情報を共有していくという流れ

会派勉強会

「宇都宮市のメディア戦略について」

また、デジタルサイネー
 ジ広告（ディスプレイ）に画像を写す）が今後成長していく。

企業のメディア戦略

ライフスタイルの変化や世界の不況の煽りを受け、テレビCMが縮小している。

新聞購読者が減少し、フリー雑誌が台頭してきている。

企業は、テレビCMに多大の経費を投入していたが、

「五感を楽しむ生活」

東京ガス SUMIKA Project を視察



市議会 自由民主党議員会

活動報告

平成21年2月9日(月)、東京ガスが提案する「SUMIKA Project」を、会派14名で視察しました。このプロジェクトは、宇都宮市内の公有地に、自然環境に配慮した人間の感性に基づくコミュニティな感覚を呼び覚ますような、「五感を楽しむ生活」を実現するため、4名の建築家（沢大良、藤本壮介、伊東豊雄、藤森照信）が提案するガスによる新たなコンセプト住宅およびパビリオンを建設したものです。

それぞれの住宅は、

個性豊かにあふれていて、現代の住宅にとって、いつのまにか欠けてきている自然環境との共生、さらに人間の感性を自覚めさせ、動物的な本能を蘇らせるような世界を、暮らしというコンセプトの中に感じることが出来ました。

見学後に、自然環境と住まいのあり方などについて、担当者を加え様々な議論を行いました。もったいない運動を推進している本市としても、環境に配慮した住まいについても、研究していく必要があると感じました。



多様性を持ったメディア戦略を行うようになってきた。

宇都宮市のメディア戦略

今までは個別の資源（餃



平成21年2月26日(木)に、自転車まちづくりの
主役に考えた交通政策につ

「自転車は未来を救う」

〜サイクルシティ宇都宮に向けて〜

講師 うつのみや市政研究センター所長 古池弘隆氏

海外の事例として、末端交通としての自転車を見直す
中で、レンタサイクルの導
入や自転車走行空間の整備
バスレーンの拡幅などを紹
介されました。
また地下鉄や郊外鉄道に
加えてLRTの新設や延伸
計画がすすんでいるよう
であります。現在、自転車
事故が増加している状況
中、安心・安全な交通環
境へのニーズの高まりが
あり、歩行者・自転車
のための道路整備の必要
性を指摘されています。
本市は、国土交

子・ジャズ・カクテル・自
転車等)がバラバラでPR
していたが、これからは個
別の資源間で相乗効果を出
すような特徴付けを行い、
様々なメディアでの活動の
中でそれぞれのイメージの定
着付けを図って行くことが
重要になる。

ローガンの策定など)し、
コミュニケーションツール
(ウェブサイト・リーフレ
ット・イベントツールなど)
の一貫したイメージの確立
を図っていく必要がある。
例えば、「この街宇都宮」
というような統一メッセー
ジを開発することも一つの
方法である。「うまい・う
ける・うつくしい・うれし
い・うきうき・うるうる」
という言葉の先頭の「う」

を統一メッセージとして全
国に発信する。
講演後、メディア問題に
ついて、意見交換を行いま
した。その中でも特に、メ
ディア環境は、時代と共に
変化することから、その時
代に対応した戦略を行わな
いと良い効果が得られない
ということを実感しました。
今後、会派としても、時代
に即した提言を行ってい
たいと考えています。

通省のモデル地区に指定さ
れ、2月から国道4号線に
おいて自転車と歩行者の通
行分離をした社会実験が始
まりました。現在、自転車
利用・活用基本計画の見直
しを行っているところで、
「サイクルシティ宇都宮」
の実現に向け
て、自転車利
用に対する気
運を高めてい
きたいとのこ
とでした。
会派として
も、サイクル
シティ宇都宮
に向け、今後
積極的な取り
組みを行うこ
ととしていま

「宇都宮市の偉人について」

〜宇都宮氏22代始末記〜

講師 歴史小説家 島 遼伍氏



平成21年3月4日(水)
に、宇都宮氏が誕生してか
ら滅亡するまでの22代の歴
史について、勉強会を行
いました。
藤原北家道兼の宇都宮氏
は、伊予、美濃、越後等の

守護職を歴任した名門大豪
族で、一門は東北地方から
九州まで広く繁栄した。
ことに鎌倉時代は現代の
大臣に相当する評定衆、引
付衆を歴代にわたって務め、
常に政権の中枢に位置し続
けた。

また文化レベルも極めて
高く、ことに歌道に秀で、
宇都宮一族は世人から宇都
宮歌壇と称され、小倉百人
一首もその産物であった。
くわえて、宇都宮氏は宇
都宮大明神(現 荒山神社)
社務職を相伝する神官であ
ったが、武士団としての強
さも抜群で、元寇の折りに

は、八代貞綱が若冠16歳で
援軍の総大将となり、六万
騎を率いて九州へ出陣。四
天王寺の戦いでは、名將楠
木正成をして「宇都宮八坂
東一ノ弓矢取也」とうなら
せている。
我々はこうした文武両道
の名族が宇都宮を中心に五
百五十余年にわたって栄え
てきた歴史を、もつと市民
に理解してもらおうべく研
究努力しなければならぬ。
宇都宮氏を勉強する中で、
歴史認識を持つことへの重
要性を感じました。歴史は、
地名や旧跡など身近な場所
に残っており、郷土愛を育
むためにも重要なものでは
ありません。いろいろな施策に
反映できるものであると再
認識しました。

政策提案を募集しています！

自由民主党議員会は、政策形成のため、
下記の政策についての提案を募集してい
ます。

将来ビジョン研究会のテーマ

シティセールス研究部会

子どもから高齢者まで健康で快適に生き生きと
暮らせる社会環境づくり
既存社会資本の有効活用、まちの魅力づくり

バイオマスエネルギー利活用研究部会

バイオマスタウンの構築(家畜排泄物、生ごみ、木
くず、廃食用油等の資源化・利活用サイクルの構築)
バイオマスエネルギー利活用研究を通じた循環
型社会の構築

地域産業の基盤と競争力強化研究部会

情報通信基盤の整備による市民生活の利便性の
向上
産業面での知的生産性の向上
地域産業としての商・工・農林業の基盤や競争
力の強化

コンパクトシティ研究部会

都市的機能と自然環境が調和する土地利用
都市拠点、産業・観光拠点、地域拠点や生活拠点の
有効活用や拠点化の促進(雀宮駅周辺地域整備等)
情報基盤の充実や地域の情報ネットワークの形成
総合的交通体系の充実整備(幹線道路、地域内交
通、LRT等公共交通ネットワークの整備)

風格あるまちづくり研究部会

宇都宮駅東口地区整備
市街地再開発事業の促進
関東圏や東北圏の主要都市との広域連携のため高
速道路等の幹線道路整備充実(スマートICの整備、
鬼怒川テクノ通り等の地域高規格道路の整備)
市民の郷土への愛着や誇りを培う都市の文化を
備えている成熟したまちづくり

ブランド戦略について

宇都宮を知ってもらう方法
宇都宮を好きになってもらう方法
宇都宮ブランドを定着させる方法

市議会6月定例会

正副議長を選出

宇都宮市議会は6月25日の本会議最終日に、正副議長選挙を行いました。新正副議長は下記の通り。

第67代議長 今井昭男
第74代副議長 南木清一

その他の議会関係人事

- 宇都宮市監査委員 鎌倉三郎 塚田典功
●宇都宮市街地開発組合議会議員 小野里豊 舟本 肇 手塚典雄
●栃木県後期高齢者医療広域連合議会議員 山崎守男
●特別委員会 (◎は委員長、○は副委員長)
◆ブランド力を活かしたまちづくり調査特別委員会 篠崎光男 小野里豊 ◎浅川信明 塚田典功
五月女伸夫 岡本芳明 横松盛人
◆環境にやさしいまちづくり調査特別委員会 山崎守男 黒後 久 ◎阿久津善一 熊本和夫
手塚順一 舟本 肇 櫻井啓一
◆福祉のまちづくり調査特別委員会 鎌倉三郎 今井昭男 南木清一 阿久津均
○渡辺道仁 角田和之
◆安全・安心のまちづくり調査特別委員会 中山勝二 大貫隆久 金子和義 ○中島 宏
手塚典雄 小林紀夫

「北朝鮮の核実験に抗議する決議」を可決

北朝鮮が国連決議等に反して2回目の核実験を強行したことは、我が国を含む地域の平和と安全を脅かし、「平和宣言都市・宇都宮」の市民の思いを踏みにじる暴挙です。

本市議会として強く抗議の意思を表明するとともに、北朝鮮に対して断固たる行動をとるよう、政府に強く要望するため、「北朝鮮の核実験に抗議する決議」を可決しました。

「基地対策予算の増額等を求める意見書」を可決

基地所在に伴う特殊な財政需要の増大等により、基地関係市町村の行財政運営は大変厳しい状況にあります。基地対策予算の増額等について、国に強く要望するため、基地交付金の対象資産の拡大や特定防衛施設周辺整備調整交付金の増額などを求める「基地対策予算の増額等を求める意見書」を可決しました。

「地上デジタル放送への円滑な移行に向けた積極的な支援を求める意見書」を可決

地上デジタル放送を視聴するためには、テレビ・チューナーの購入や共聴施設の新設・改修等が必要であり、住民の負担は大きいものとなっています。

地上デジタル放送への円滑な移行に向け、アナログ放送と同様の放送エリアの確保や難視聴対策に関する支援や補助制度の新設・拡充、受信機器購入経費に対する支援拡大、アナログテレビのリサイクル活用方策などを、国に強く要望するため、「地上デジタル放送への円滑な移行に向けた積極的な支援を求める意見書」を可決しました。



鎌倉三郎 ⑨
大寛2丁目6-13
TEL. 634-4705
FAX. 639-6407



中山勝二 ⑧
江曾島町1027-2
TEL. 658-3318
FAX. 659-1993



篠崎光男 ⑦
雀宮町1-1
TEL. 654-0770
FAX. 653-9897



山崎守男 ⑦
新富町2-5
TEL. 653-6746
FAX. 653-6746



黒後 久 ⑥
峰4丁目3-15
TEL. 661-6598
FAX. 660-6687



小野里豊 ⑥
一条3丁目1-6
TEL. 634-8729
FAX. 633-1366



今井昭男 ⑤
陽東1丁目16-12
TEL. 661-3529
FAX. 660-1568



大貫隆久 ⑤
緑2丁目16-2
TEL. 658-2743
FAX. 659-0380



阿久津善一 ④
屋板町725-1
TEL. 656-3233
FAX. 656-3233



浅川信明 ④
一条4丁目5-28
TEL. 633-0015
FAX. 633-0155



南木清一 ③
平出町2923
TEL. 661-0775
FAX. 661-2301



金子和義 ③
平塚町130-5
TEL. 656-2753
FAX. 656-2059



塚田典功 ②
松原1丁目2-11
TEL. 627-1662
FAX. 637-4969



阿久津均 ②
泉が丘4丁目8-3
TEL. 663-8070
FAX. 661-7701



渡辺道仁 ②
田野町595-47
TEL. 652-7200
FAX. 652-7200



中島 宏 ②
砥上町1630-7
TEL. 649-0071
FAX. 649-0037



熊本和夫 ②
戸祭3丁目4-18
TEL. 622-7706
FAX. 622-0542



角田和之 ①
西川田町489-18
TEL. 684-0085
FAX. 655-3577



五月女伸夫 ①
下岡本町4234
TEL. 673-2072
FAX. 673-8580



岡本芳明 ①
上籠谷町1739-1
TEL. 667-0343
FAX. 667-0343



手塚順一 ①
中里町475
TEL. 674-2356
FAX. 674-2451



舟本 肇 ①
御幸ヶ原町155-1
TEL. 689-3711
FAX. 689-3736



手塚典雄 ①
下ヶ橋町687
TEL. 673-4134
FAX. 673-4134



横松盛人 ①
大谷町2003-3
TEL. 652-5272
FAX. 652-5272



小林紀夫 ①
海道町143
TEL. 661-5465
FAX. 661-5465



櫻井啓一 ①
篠井町1577
TEL. 669-2994
FAX. 669-2546

ご意見・ご感想は 身近な当会議員に！

掲載致しました記事だけでなく、市民の皆様が日頃感じている暮らしに関すること等のご意見・ご要望・ご感想を、身近な議員にもお気軽にお寄せ下さい。

※名前の後の○数字は期数です。